

上智大学国文学会二〇二三年度冬季大会開催のご案内

上智大学国文学会二〇二三年度の冬季大会を左記のとおり開催いたします。

冬季大会では研究発表に加え、上智大学基盤教育センターにおける「思考と表現」領域の取り組みについて担当の先生方に実践報告をお願いいたしました。

夏季大会は三年半ぶりの対面開催でしたが、今回はやはり、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から会場を使用するの大会は行わず、全てzoomで開催いたします。参加をご希望の方は、**上智大学国文学会ホームページ** <https://sophia-kokubun.jp/> からお申込みください。開催が近くなりましたらzoom ID、パスワードをお知らせします。どうぞ奮ってご参加ください。

二〇二三年十二月

上智大学国文学会会長

服部 隆

【開催日時】 二〇二四年一月二十日（土） 午後一時三十分開始

【第一部 研究発表】（午後一時三十分～三時四十分）

○『遊仙窟』四古抄本における口語の理解度の調査の試み

上智大学国文学専攻博士後期

石 璽彦

○本居春庭の活用論再考

鶴見大学准教授

遠藤佳那子

○久保田万太郎「ふゆぞら」論——虚子と鏡花を補助線に——

上智大学文学部助教

福井 拓也

休憩 二十分間

【第二部 実践報告】（午後四時～五時三十分）

上智大学の全学共通科目「思考と表現」領域の取り組み

司会

服部 隆

（上智大学文学部教授）

一、報告

・上智大学の基盤教育と「思考と表現」領域の取り組み

服部 隆

・必修科目「思考と表現」の目標と課題

中野 遙

（上智大学基盤教育センター特任助教）

斉藤 みか

（上智大学基盤教育センター特任助教）

二、報告者相互および会場からの質問

上智大学国文学会 電話・FAX 03-3238-3637

jouchi.kokubungakka@gmail.com